flip NEWSLETTER & UPDATES

OCTOBER 19, 2021

New 小学校３年生クラス
Friday afternoon!

We have good news! Flip is planning to start a new class for 3rd grade students. フリップではこの秋、新たに小学3年生クラスの開講を予定しています。

We have several parents that would like Flip to start a 60-minute third grade class this fall. Do you have a friend who might be interested in joining? 今のところ、既に数名の保護者の方からこのクラスへの入会の希望を伺っています。希望者が４人になった時点で、できるだけ早くレッスンを開講する予定です。

お友達の秋からの入会にご興味がございましたら、できるだけ早くご連絡いただけると幸いです。

If you have any questions, please do not hesitate to ask. もしご質問などありましたら、お気軽にご連絡ください。

New Advanced Learners Classes!

New classes start in November! Visit our website for info!

Student Support from Flip!
教養を身につけるために『考える力』を身につけよう！

みんな元気ですか？
前回から＜今ほど、教養が必要な時代はない！＞というテーマを一緒に考えています。
みんながこれから生きていく時代は、ある意味、情報や知識を集めるのには、勉強も努力もそんなに必要がない時代になるということを9月のニュースレターで伝えました。
「スマホさえあればOK! 楽でよかった〜。」と思った人もいるかも知れませんね。

しかし、一方でフェイクなのか、本物なのか、正しい情報なのか、間違った情報なのかを見極めるのが非常に困難な時代になることを忘れないでくださいね。
決して楽な時代ではなく、ある意味、生きにくい時代になっていくのかも知れません。
だからこそ、東大の先生達が「今ほど、教養が必要な時代はない！」と言われるのです。
そして、教養を身につけるために『考える力』を身につけることが必要だと教えてくれています。

そこで、みんなに質問です。
考える力がある人とそうで無い人の違いはなんだと思いますか？
※読みすすめる前に少し考えてみてください。

如何でしたか？
色々なことが必要だと思いますが、考える力がある人とそうで無い人の違いの一つに、自分に向かって適切な質問ができるかできないかの違いがあります。

▶考える力がない人 ➡ 他人に質問する（教えてもらう）➡ 自分で考えないので力がつかないのです。これでは考える力がつきません!

▶考える力がある人 ➡ 自分に質問する ➡自分で考えるので力がつきます。

もしかしたら、自分は考える力が弱いと思っている人は、自分への質問の仕方を知らないだけなのかも知れません。
だから自分への質問の仕方を知ることによって「考える力」がつくとも言えます。

そこで、いくつかの質問を紹介します。
①「どうして？」　「なぜそう言えるのか？」
＜例＞Aさんはイチゴが好きと言うことを考える
自分への質問：「どうしてイチゴが好きなのかな？」
自分への質問：「赤くて、甘いからかな？」
自分への質問：「赤いのが好きなのはなぜ？」
自分への質問：「赤は、女の子色だからかな？」
このように「どうして？」「なぜ？」と質問することによって考えを深めることができます。

②「それは本当かな？」　「正しい？」
＜例＞カナちゃんがいじめられる理由
友達：「みんなを馬鹿にしてるからだよ。」
あなた：「それは本当かな？（事実かな）」
友達：「みんなが言ってるから！」
あなた：「それって本当？（正しい？）みんなって誰か知ってる？」
友達：「ん？誰かな？・・・」
このように「それは本当かな？」「正しい？」と質問することによって真実を明らかにすることもできます。

是非、みんなには、目の前で起こる事柄や情報をそのまま受け入れるのではなく、意識的に自分に質問して『どうしてそうなのか？』『本当かな？』『なぜ自分はこんな気持ちになるのか？』というふうに、掘り下げて考えてみてください。
この訓練を繰り返すことで、考える力（考える習慣）がつきます。
どんなことでもいいんです。学校で友達と意見が違ったとき、それはどうしてか？　誰かの一言をうれしく感じたとき、なぜうれしいと感じたか？　洋服を買ったとき、なぜ自分はそれを選んだのか？　理由や自分の気持ちをじっくり考えてみてください。

来月は、教養を身につけるにはどうすれば良いのか、第二弾を一緒に学びたいと思います。
楽しみにしていてくださいね。

Keishi Fujii
Grow Life